

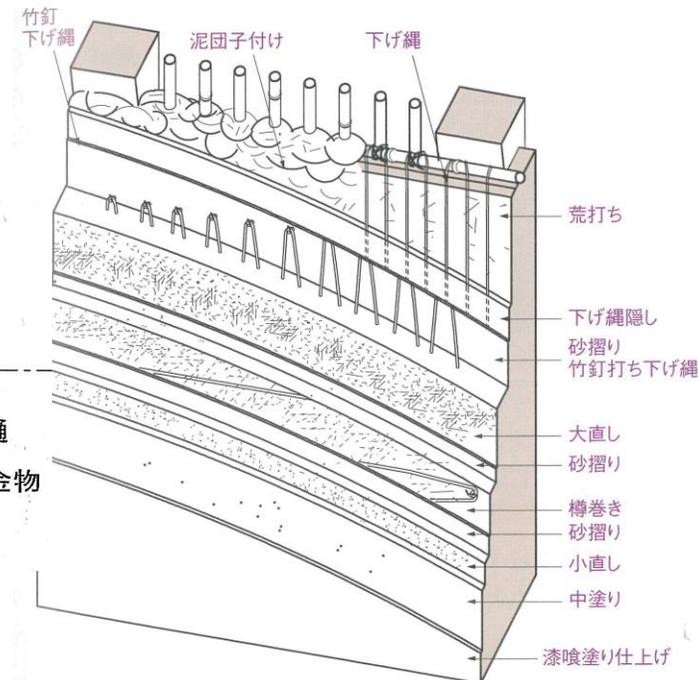
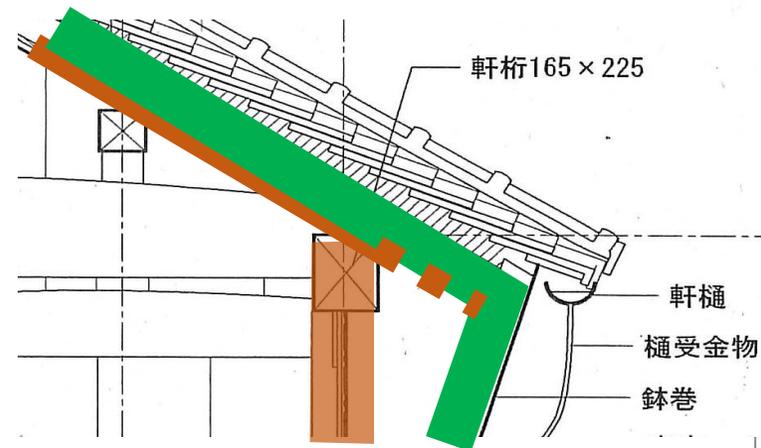
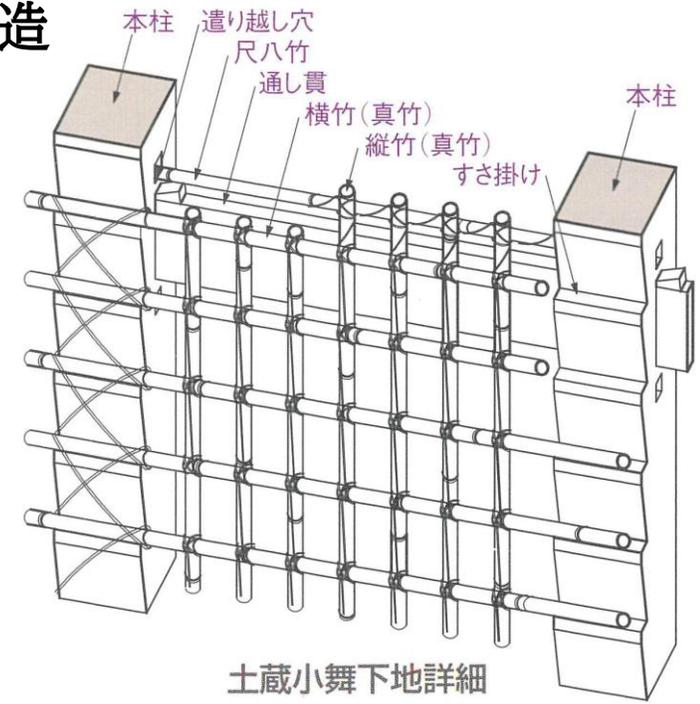
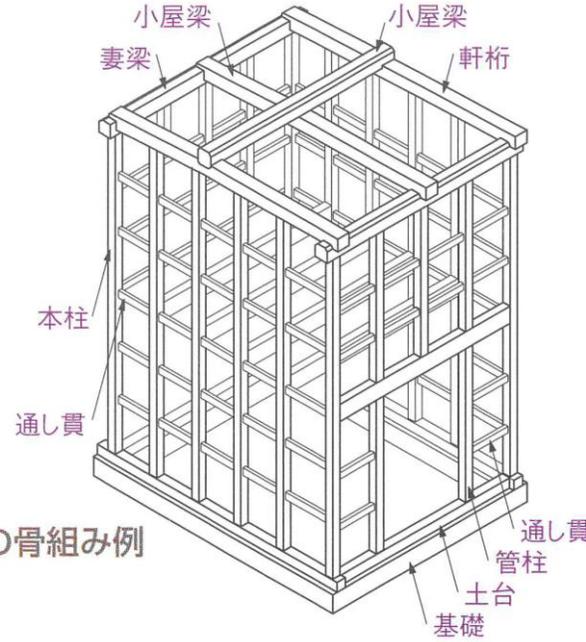
修理前の土蔵



屋根の解体調査



土蔵の構造



壁の解体調査



↑ 小舞竹



柱だけになった状態



折釘の構造



窓の構造（窓も土で作られている）

↓ モルタル壁の撤去



↓ 中塗り壁



大津締（漆喰壁）



↓ 荒壁の撤去と小舞竹



曳家の痕跡

当初の予定と違い、壁、瓦、全てを修理する必要となった。

- ・屋根→瓦は劣化し、大半が再利用不可
- ・屋根下の土も再利用不可
- ・壁→壁土は劣化し、再利用不可
- ・小舞竹も劣化

どのように復元するか？

国登録の場合、外観は登録時の状態を維持する事

修理方針の変更→設計図の変更

壁（土壁→木部と土・漆喰）

瓦（土葺→木部）瓦は8割新規に）

修復復元作業（令和6年2月から）

梁の交換



修理前



修理前



修理中



修理中

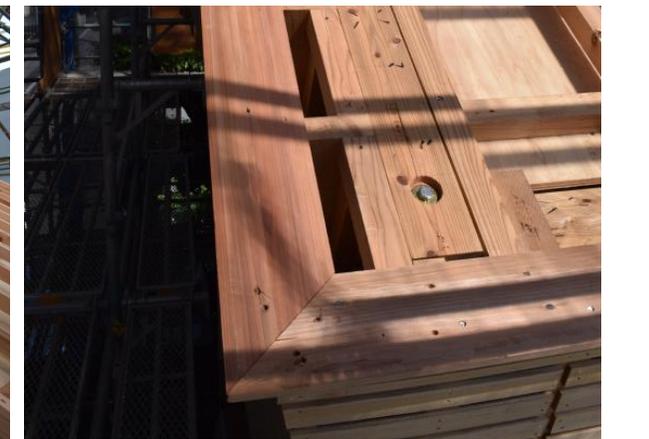
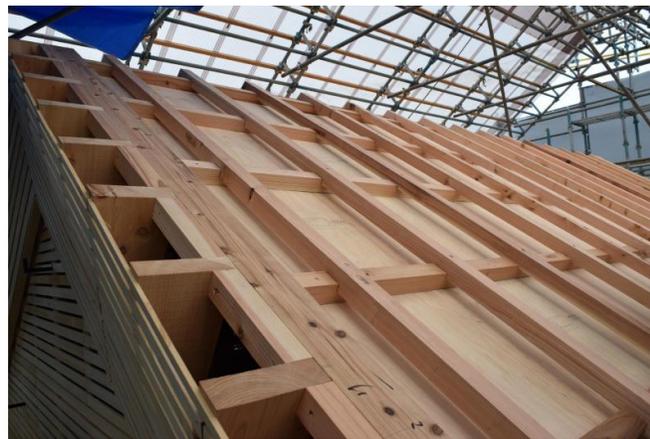


修理後

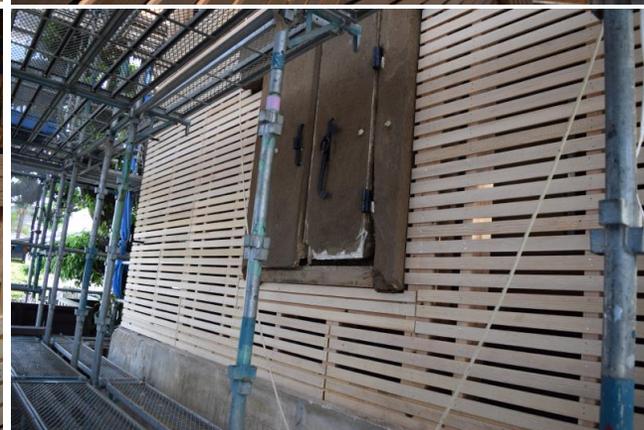
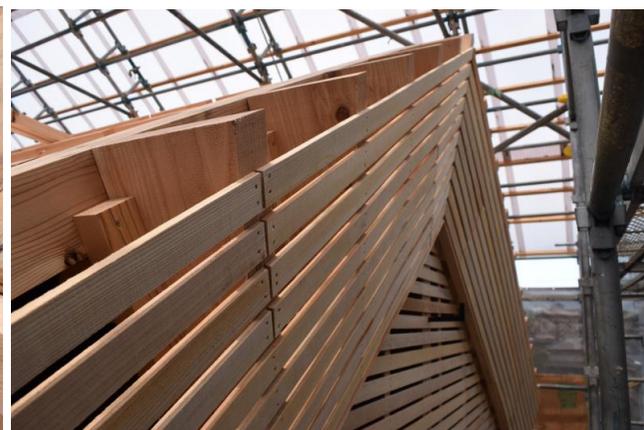
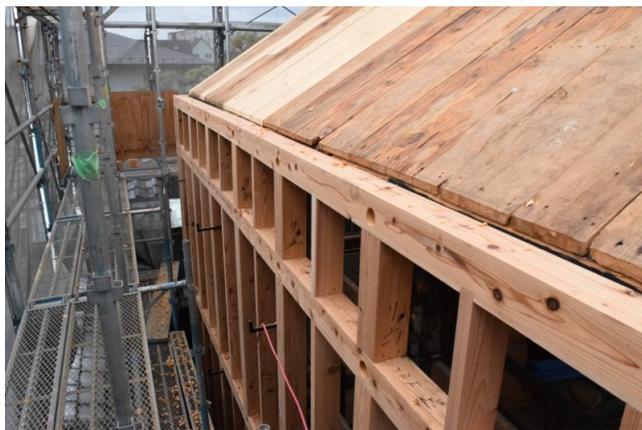


修理後

野地板・屋根の修復



壁の復元



屋根瓦の復元

